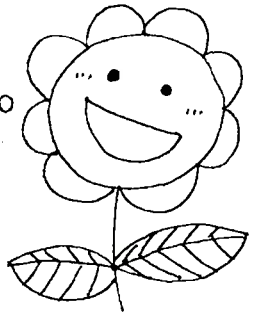


子育て支援

夏号。



わくわくランド通信

～みんなで守ろう 子どもの命～

毎年、2000人近くの子供達が思わぬ事故によって幼い命を落としています。

「事故」としても交通事故ばかりではありません。

「おぼれ・転落・やけど・誤飲」など...

これらの事故は、ちょっとした注意で防ぐことが出来るものであり、しかも大人が側について少し目を離した際に起こっています。

あゝ！危ない！！

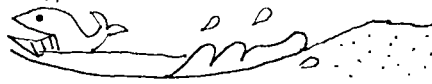
子どもの目線で
家の中を見てみましょう

幼い子どもは「視覚・聴覚・触覚・味覚」などで物事を認識していきます。家の中には子どもの好奇心をくすぐる物がいっぱいありますよ

あゝ！おぼれた！！

子どもはわずか水位10cmでおぼれます

バリアフリーの普及と共に浴槽の高さも低くなり、河川での事故の他、浴槽や洗濯機への転落事故も多くなっています



河川での遊びは大人と一緒に！！

あゝ！飲んじゃった！！

子どもの口の大きさは最大約3.2cmです

子どもは何でも口に入れて飲み込んでしまいます。しかも、3.2cm以下の物は口に入るのです



あゝ！やけど！！

熱さは目に見えません

キッチンだけでなく最近ではリビングでのやけども多くなっています

たばこの誤飲

もしも一たばこを飲んでしまったら水か牛乳を飲ませて吐かせます。少量なら様子を見ますが2cm以上はすぐに病院へ。水に溶かしたたばこは最も危険です